

# 産官学医と考える 健康経営フォーラム

## ～知多半島の未来と地域活性化に向けて～

2025年8月28日(木)に開催された「産官学医と考える健康経営フォーラム(常滑商工会議所主催)」について、知多半島医療圏地域・職域連携推進協議会の連携事業と位置づけ、開催協力しました。

当日は113名(開始時)の参加があり、盛況でした。イベントの概要及び当日の主な内容について報告します。

### 開催概要

日時:2025年8月28日(木) 午後1時から午後3時30分まで

場所:ボートレースとこなめ トコタンホール

### プログラム

#### 1 主催者あいさつ

#### 2 基調講演 「働くすべての人々と事業者に届く健康経営」

講師 日本福祉大学 看護学部 看護学科 水谷聖子教授

#### 3 休憩—リラックス体操—

#### 4 参加事業所による事例報告

① エバー株式会社による健康経営の取組み発表

② 愛知大学学生によるホワイト企業探訪記発表

③ 半田保健所による健康関連データの情報提供

④ アクサ生命保険株式会社から健康経営アクサ式のご紹介

#### 5 パネルディスカッション

パネリスト:中部国際空港株式会社／常滑市役所／愛知大学

コーディネーター:エバー株式会社 吉田氏

#### 6 閉会のあいさつ

#### 7 自由参加型交流会

## 主催者あいさつ

常滑商工会議所 磯部会頭

たくさんの方にご参加いただき感謝申し上げる。

私事だが、毎朝ウォーキングしながらゴミ拾い(プロギング)をしている。

「知多半島＝プロギング」という新たな地域イメージにつながるのもよいかもしれないという思いがある。

健康の維持・増進は、職場の活性化さらには地域の持続的な発展にも直結する。

また、人材の定着にもつながる。

そのため、知多半島全体で健康経営を通して地域を盛り上げていきたい。

## 基調講演

日本福祉大学 看護学部 看護学科 水谷教授

### 「働くすべての人々と事業者に届く健康経営」

- ・ 健康経営その前に、事業所の方には「労働衛生」・「産業保健」に取り組んでいただきたい。
- ・ 労働者50人以上では衛生管理者の選任、50人未満では安全衛生推進者・衛生推進者の選任が必要である。
- ・ 健康診断の結果をそのままにせず、保健指導の実施や医師等からの意見聴取等の措置が大切になる。
- ・ 活用できる資源:産業保健総合支援センター／知多地域産業保健センター／労働基準監督署／半田保健所／常滑市保健センター など
- ・ 自律的な産業保健の推進は、健康経営との相乗効果により、社員の健康、生産性の向上、事業所の発展・企業価値の向上につながる。

## 休憩－リラックス体操－

GREENLIFE FITNESS

休憩時間に呼吸法やスクワット運動を行いました。

## 参加事業所による事例報告

### エバー株式会社による健康経営の取組み発表

- ・ 5年連続でブライト500に認定されており、今年度「安全経営あいち®」賛同事業場としても登録された。
- ① 健康経営コーナー：資料掲示／体重計・血圧計・マッサージ機・足ツボマット等を設置。健康意識をもつ場になっている。
- ② 健康診断のアップデート：人間ドックの実施／女性特有の検査の実施／産業医面談／要再受診者のフォロー強化 等
- ③ 美化活動（プロギング）：からだを動かしながらコミュニケーションが取れ、会社もきれいになるため、“一石三鳥”
- ④ 多国籍ランチ会・ベジチェック：多国籍の従業員が多いため、食事による交流やベジチェックを実施した。
- ・ 今後の展開：敷地内全面禁煙に向けた段階的施策／アブセンティーズム<sup>※1</sup>・プレゼンティーズム<sup>※2</sup>のコスト分析と対応

※1:健康問題による欠勤　※2:欠勤には至っていないが、健康問題が理由で生産性が低下している状態

### 愛知大学学生によるホワイト企業探訪記発表

- ・ 愛知大学では、1・2年生を対象に、キャリアデザインプログラム(CAREER FIELD)を実施している。  
<ホワイト企業探訪記>
- ※ 健康経営を実施する企業に訪問・取材。以下は、取材した企業と主な取組内容。
- ① 大橋運輸株式会社(瀬戸市, ブライト500): 果物等の配布／禁煙サポート(受診料の補助等)／趣味応援企画
- ② オーエスジー株式会社(豊川市, ホワイト500): 育児短時間勤務制度(中学卒業まで取得可)／健康意識調査
- ③ 株式会社ノダキ(名古屋市, ブライト500): 姿勢矯正改善インソールの配布／出勤時間内の健康診断
- ・ 就職活動をする上で、企業の規模ではなく、健康経営を就職先を決める基準の1つにしていきたい。

※企業様情報は、2024年11月の取材時に基づくものとなります。

### 半田保健所による健康関連データの情報提供

- ・ 知多半島医療圏は、特定健診受診率・特定保健指導実施率が県内1位。一方で、生活習慣を改善する意思がない人の割合が全国と比較して高く、メタボリックシンドローム該当者・予備群も県平均より有意に高い。
- ・ メタボリックシンドロームは、放置すると透析や脳卒中、心臓病など命に係わる危険性がある。
- ・ 自然に健康になれる環境づくりとして「事業所における健康づくりの推進」が重要である。
- ・ まずは、健康診断で要再検査・要精密検査であった従業員を、確実に二次検査受診へ繋げるところから始めてほしい。

## アクサ生命保険株式会社から健康経営アクサ式のご紹介

- ・ 健康経営優良法人認定制度は、申請数・認定法人数ともに年々増加傾向。愛知県の中小規模法人認定数は全国2位。
- ・ 自社の健康課題を知るところから始めていただければと思う。
- ・ 健康経営アクサ式:健康習慣アンケート／従業員セミナー開催／ワンポイントアドバイス配布／健康経営サポートパッケージ／健康経営優良法人申請サポート 等
- ・ 健康経営アドバイザーに認定された社員が健康経営の普及や支援活動に努めている。

## パネルディスカッション

パネリスト:中部国際空港株式会社／常滑市役所／愛知大学  
コーディネーター:エバー株式会社 吉田氏

- ・ (コーディネーター)副題である「知多半島の未来と地域活性化に向けて」について深めていきたい。
- ・ (愛知大学)就活の心構えとして「仕事は人のやりたくないことをやることでお金をもらっている。その上で楽しく働けるかを考えられるとよい」と学生に伝えている。いかに自分に合う職場を見つけるかが大切だろう。企業は、学生に対してきれいな部分だけでなく、現場のリアルな面も見せてもらえるとよいのではと思う。
- ・ (中部国際空港株式会社)学生には、仕事の良いところだけでなく、難しさや厳しさもバランスよく伝えられるとよいか。従業員のメンタル面は二極化しており、活躍層と学生から社会人になった際にコミュニティにうまく入れない層があると感じる。一社でできることは限りがあるため、行政にサポートしてもらえるとありがたい。複数社であればできることもあると思われるため、横のつながりを作ってもらえると有難い。
- ・ (常滑市健康推進課)市では第3期健康日本21とこなめ計画を策定している。企業と連携しながら働く世代へ働きかけをしていきたい。今年度から事業所を対象に健康づくり出前講座を実施しているため、活用していただければと思う。人の生涯はつながっているため、健康維持を意識してもらえばと思う。

## 閉会のあいさつ

常滑商工会議所人づくり委員会 斎田氏

産官学医それぞれの立場からお話があり、健康経営を進めていくヒントがあったように思った。

常滑商工会議所では、健康経営について自由に話し合える場として「健康経営カフェ」を月1回開催している。健康経営が進んでいけば、従業員の働きがいが高まり、企業が元気になる。企業が元気になれば、社会全体の活性化につながる。だからこそ、知多半島5市5町が一体となって健康づくりやまちづくりを進めていければと思う。

## 自由参加型交流会

参加者同士で名刺交換などを行いました。